診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院泌尿器科、がん研究会有明病院泌尿器科、および聖路加国際病院泌尿器科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】
調査対象となる期間：　2013 年 1 月 1 日　～　2020 年 12 月 31 日の間　に、前立腺癌のために虎の門病院泌尿器科、がん研究会有明病院泌尿器科、および聖路加国際病院泌尿器科に入院し、前立腺全摘除術および骨盤リンパ節郭清を受けられた方

【研究課題名】
前立腺癌におけるリンパ節転移様式とそのリスク因子に関する側方特異的検討

【研究の目的・背景】
前立腺癌治療において、解剖学的なリンパ流の走行に関しては、個人差によるものが大きく、一部には左右の交通が存在することが過去の研究で示されています。このため現行の術式では、腫瘍の局在に関わらず、全体の臨床所見に応じて一律に両側の骨盤内リンパ節郭清を行うことが通例となっています。しかし、限局性前立腺癌患者の実際のリンパ節転移の割合は、現在臨床的に用いられている複数のノモグラムを使用して郭清の対象者を限定してもなお少なく、さらに腫瘍の局在によりリンパ節転移の左右差に傾向が認められます。本研究は、腫瘍の局在(左右)に注目し、左右片側のリンパ節郭清を省略することの実現可能性と、これに基づく予測モデルの開発および検証を目的としています。

【研究期間】
2026 年 11 月 19 日　～　2031年3月 31 日

【個人情報の取り扱い】
お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。
また、本研究に関わる記録・資料は　虎の門病院において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】
診療情報：　年齢、性別、血液検査(PSA)、直腸診所見、MRI 所見、生検標本および手術標本の病理結果、手術術式、PSA 再発の有無と診断日

【研究代表者】
虎の門病院　泌尿器科　浦上 慎司

【各研究機関における研究責任者・研究機関の長】
虎の門病院
研究責任者：泌尿器科　浦上 慎司
研究機関の長：院長 門脇 孝
がん研究会有明病院
研究責任者：泌尿器科　沼尾 昇
研究機関の長：院長 渡邊 雅之
聖路加国際病院
研究責任者：泌尿器科　新保 正貴
研究機関の長：院長 石松 伸一

【利用する者の範囲】
虎の門病院　泌尿器科　浦上 慎司
がん研究会有明病院　泌尿器科　沼尾 昇
聖路加国際病院　泌尿器科　新保 正貴

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】
本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】
本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。
また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、　2027年3月 31日　までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】
虎の門病院　泌尿器科　浦上 慎司

電話　03-3588-1111(代表)
がん研究会有明病院　泌尿器科　沼尾 昇
電話　03-3520-0111(代表)
聖路加国際病院　泌尿器科　新保 正貴
電話　03-3541-5151(代表)